

武豊町地域公共交通会議 第18回 会議 議事録

日時：平成27年2月13日（金）

14：00～16：00

場所：思いやりセンター2階ABC会議室

1. 会長あいさつ

○事務局

- ・ただいまから「武豊町地域公共交通会議」の第18回会議を開催させていただきます。
- ・委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。
- ・本日、事前にお送りしました資料をお持ちでない方、ございますか。
- ・それでは会議資料の次第に従いまして取り進めさせていただきます。はじめに、開会にあたりまして会長であります町長の初山からごあいさつさせていただきます。

○初山町長（武豊町長）

- ・こんにちは。ご多忙の所ご出席いただきありがとうございます。
- ・委員の構成について3名の交代がありました。
- ・本日議事としては、2点の協議事項、3点の報告があります。
- ・前回の会議で報告しましたが地域公共交通総合連携計画に基づき運行していますが、この計画が今年度で終了しますので見直しを行っています。新しく定めています地域公共交通網形成計画を本日は修正しており報告・協議させていただく。
- ・利用状況ですが1月末の段階で147,838人となりました。1日当たり91人の利用で、昨年より少しずつ増えています。
- ・バスが走っていることが行政の務めだと思います。空気を運んでいると言われていますが事業を実施することが行政の務めだと考えています。
- ・本日はこうした事業について慎重なご議論をお願いさせていただいて、あいさつと替えさせていただきます。

○事務局

- ・ありがとうございました。議事に入る前に今回の会議から新しく委員になられる3名の方に委嘱状をお渡ししたいと思います。
- ・お名前を読み上げますので、読み上げましたらご起立願います。
- ・長尾部長 中川直一様、大足区長 田邊俊二様、富貴地区区長会長 村上吉永様です。よろしくお願いいいたします。
- ・それではただいまから議事に入らせていただきます。
- ・本日は、委任状を2名の委員、名簿番号11番、17番の方からいただき、代理出席していただきありがとうございますのでよろしくお願いいいたします。
- ・また、2名の委員、名簿番号14番、19番の方から欠席の報告を受けておりますが、過半数を超える委員の方のご出席を頂いておりますので規約に定める（第6条第3項）開会要件を満たしております。
- ・なお、この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますのでよろしくお願いいいたします。
- ・それでは、伊豆原先生、恐れ入りますが議事のとり進めよろしくお願いいいたします。

2. 議事

○伊豆原座長

- ・限られた時間ではありますが活発な議論をお願いできればと思います。

●第1号議案 武豊町地域公共交通会議 規約の改定について・・・・・・・・・・議案1

○事務局

- ・議案1説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。
- ・規約の改正についてご説明いただきました。法の改正に伴うものです。ご斟酌いただきたい。
- ・ご質問等ありますか。
- ・質問なしというお言葉をいただきました。全員の承認として進めさせていただきます。
- ・ありがとうございました

●協議事項1 武豊町地域公共交通網形成計画について・・・・・・・・・・資料1～3

○事務局

- ・資料1～3、当日配布資料説明

○伊豆原座長

- ・説明ありがとうございました。前回の指摘、その後の指摘をうけて修正しました。次回3月の会議で最終案にしたいが、現在の修正案について説明いただいた。ご質問、ご意見ありますか。

○後藤委員

- ・修正等お願いし対応いただきありがとうございました。修正をお願いした意図は、国の要綱等で定めている内容について、少し足りない部分があり指摘させていただいた。
- ・この案をこれから国土交通省本省にて確認する必要があります。
- ・パブリックコメントを行うことは良いのですが、国からも修正指示があるかもしれません。微修正であれば3月の会議に間に合いますが、国の指摘が遅くなれば伊豆原先生や町長、事務局等と相談して対応していただきたい。
- ・また、追加資料1の98頁についての説明もお願いします。

○事務局

- ・パブリックコメントについて住民の理解を得るために実施したい。この計画内容でよいか、資料1の本編部分のみをパブリックコメントにかけることがよいか確認をいただきたい。
- ・地域公共交通再編実施計画は国の認可が必要で、国との事務調整を進めてよいか確認をいただきたい。協議事項2とも関係するが関係者との調整も同時に行っていくので了解をいただきたい。

○中川直一委員

- ・98頁の評価指標がある。利用者数、財政状況の指標があるが、両方がよければ良いが、片方がわるくなるとどうなるのか。皆さんに喜んでいただける事業とするための指標にならないか。使った額に対してどれだけの利用者があったかという指標（費用対効果）があるとよい

○事務局

- ・数値目標とアンケート調査の二つの方法で対応する。アンケート調査は中間年度と最終年度で対応し満足度のような指標も確認できる。

○伊豆原座長

- ・評価指標とするのか、目標設定とするか。
- ・達成する目標に対して評価する指標を考えるべき。
- ・達成目標として例えば1人当たりの投資額は設定するには難しいが、評価指標として議論するには良い指標となる。満足度も指標として組み合わせて考えてればよいのではないか。

○事務局

- ・次回の会議までに考えて対応したい。

○田邊委員

- ・資料の項目の中でしっかり説明されているのでそれで理解できると思う。

○伊豆原座長

- ・評価の方法、ポイントで整理しているのでそれを説明してください。

○事務局

- ・これまでの評価としてアンケート調査の際に、事業費について1世帯あたりの1,350円の負担をしている点を確認していた。そうした数字も評価の視点としてもっています。

○伊豆原座長

- ・町民の皆さんの理解が得られるように表現について確認ください。よろしいでしょうか。

○浅田代理（愛知県 古橋委員）

- ・92頁について市街化区域とまちづくり拠点とを結ぶことを目指しているのので、例えばまちづくり拠点への公共交通での来訪者割合なども評価指標としてはどうか。また、鉄道との接続もあるので、鉄道との乗り継ぎ利便性も指標としていれたらどうか。

○事務局

- ・次回までに検討させていただく。

○伊豆原座長

- ・指標は得られるデータで評価すべきで、データを取るために多くのお金をかけてもあまり意味がない。
- ・得られるデータで評価する方法を事務局に考えておいて欲しい。
- ・その他ありますか。評価方法等については事務局と調整させていただく。事務局と会長、伊豆原でチェックすることについてお任せいただきたい。
- ・事務局からパブリックコメントに入りたいとの要請があった。宜しいでしょうか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。評価方法について、修正した後で委員には郵送配布し、パブリックコメントを行う。
- ・次に資料2について国土交通大臣の認可を得るものになる。国との協議に入ることをお諮りしたい。

○後藤委員

- ・資料2の事業転換日が6月1日となっています。国との調整にかなり時間がかかるため、6月1日は難しいかもしれない。デメリットも紹介したい。現在、4つのフィーダー路線に対して補助されているが、平成26年10月から9月までの運行に対して補助されています。
- ・年度の途中の経路変更はあるが、赤ルートは半田市に乗り入れる。フィーダー路線、支線ではなく、幹線系統として補助対象を考えていると思う。年度の途中にフィーダーから幹線への転換する考え方がない。そのため10月1日に転換したほうが得策ではないか。
- ・6月1日なら再編計画とは別に、フィーダー系統のまま事業変更する方法があるが、補助金の活用を考えても10月にした方が有利ではないか。

○事務局

- ・6月1日に向けて関係者と調整してきましたが、皆さんのご意見をうかがって10月がよいか判断したい。

○伊豆原座長

- ・半田市に乗り入れて幹線系統にする方が補助率がよい。6月ではなく10月にすべきかは事務局にお任せしたいが宜しいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・異議なしとの発言を頂戴した。その他、ご意見をお願いできれば思う。

○橋本代理（知多乗合 勝田委員）

- ・特に問題はないと思う。事業者としては、運転回数、運転時間など、安心安全に運行できるようにしたい。試走をいっしょに行っており調整しながら進めたい。現在は特に問題はないと思う。

○半田市（企画課長）

- ・半田市では乗り入れることについて幹部と協議して了解している。安全に運行してもらえればと思う。

○後藤委員

- ・半田イオン店との話し合いは進めているか。

○事務局

- ・事前調整し了承してもらっている。

○後藤委員

- ・緑ルートが廃止される。大部分が赤ルートで重複されるが、中央部分がなくなることについて地域の了解を得ているか。

○伊豆原座長

- ・指摘の点は運行計画についての議論です。協議事項2と大きくかわることなのであわせて議論したい。計画について、国との協議に入ることについて問題がないか皆さんに確認したい。よろしいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。それでは協議事項2の資料4の説明をお願いします。

●協議事項2 武豊町コミュニティバス・乗合タクシー事業の新運行計画について・・・資料4

○事務局

- ・資料4説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。

○後藤委員

- ・緑ルートについては乗合タクシーでカバーすることになるが、地域住民にはショックがあると思うので十分な事前説明をお願いします。

○事務局

- ・説明対応したい。

○中川一委員

- ・大型店への乗り入れへの要望について対応する。
- ・中心市街地の真ん中に停留所がない。

○総務部長

- ・中心市街地は92頁のピンクの線で囲んでいる場所。2つの駅を結んだ場所になる。
- ・駅東土地区画整理事業を行っており駅にはロータリーができる。ルートもかえることになる。土地区画整理事業を進めながらルート、停留所位置は変えていく。

○伊豆原座長

- ・将来の姿は理解できる。将来とは別に現在の商店街に停留所がおけないか。当時はとめられなかったかもしれないが、今なら商店街と議論できるのではないか。地域で議論していただいたらどうかと思う。
- ・新しいルート案を地元を展開して今の道の状態だと止められないと思うが、店先を利用してよいという話があるかもしれない。そうした議論をすることが重要だと思う。
- ・6月から10月にするなかで地元と調整する配慮をお願いしたい。

○櫻場委員

- ・10月に伸ばすことについて住民のためのバスなのか、補助金のためのバスなのか難しいと聞いていた。住民の立場ではあまり伸ばさないで欲しいと思っていた。住民優先のバスなら多少のお金はがまんしてもよいのではないか。
- ・新しい案は良い仕組みになっていると思う。便利にすることが重要で今回の見直しで40分に1本の間隔で運行することになりよくなると思う。イオンにいけるのも印象が大きく変わる。
- ・10月まで待つのはつらい。

○伊豆原座長

- ・事務局も頭を痛めているところだと思う。事務局も良かれと思って対応していると思う。

○事務局

- ・町だけで進められない。愛知運輸支局と調整しながら時期を見極めたい。住民への周知も大切な

ので、力をいれながら対応したい。

○伊豆原座長

- ・町長のあいさつのなかで空気を運んでいるという言葉があった。空気を運ばせないようにするには住民の努力、住民の対応、住民の意見が重要だと思う。
- ・町と住民がお互いに話し合えるチャンスが大切なので、事務局は大変ですがよろしく願いたい。国との協議を進めることについてよろしいでしょうか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。確認できたとして協議を進めることとしたい。

○盛林委員

- ・体育館からインターチェンジまでのルートについては少し狭い場所があると聞く。すれちがいが厳しい場所があると思う。一方通行ではない。安全運転の運行のための要望として、道路標識、道路上のペイントなどの対策をお願いできればと思う。

○事務局

- ・狭い場所があることは理解している。交通事業者と試走して確認している。ペイントなどの対処を進めたい。

○伊豆原座長

- ・道路交通法の標識は難しいので何らかの表示をお願いしたい。
- ・住民の皆さんにも協力いただけるように話をしておくことも重要。
- ・その他よろしいか。

3. その他

○自己評価の対応について（1月16日国提出の件）・・・・・・・・・・参考資料1～2

○利用促進活動について

- ・利用促進友の会の活動

○次回19回（3月）の協議予定

- ・平成28年度生活交通ネットワーク計画（案）について（報告事項）
- ・武豊町地域公共交通網形成計画の承認について（議案）
- ・平成27年度武豊町地域公共交通会議の事業計画（案）について（議案）

○櫻場委員

- ・利用促進活動について報告させていただく。
- ・利用促進友の会として発足当時はバス事業を知ってもらうことを目的に活動した。今では概ね認知されたため、何とか乗る機会をつくり、利用率をあげたい。
- ・具体的にはスタンプラリーを行っている。バスに4回乗車するとカードにスタンプする。スタンプはお店で行いお店の利用も促している。
- ・観光ボランティアと協力してバスツアーを行っている。景色の良いところで写真やスケッチなどを行っている。最近人気があったのはミステリーウォーク。応募が殺到した。
- ・年に数回程度の活動しかしていないが、イベントごとに認知が高まっている。
- ・日常生活の中でバスを使ってもらうように定着させたい。そのため乗り方レシンプを作成している。

○事務局

- ・利用促進友の会と一緒に事業を進めたい。

○伊豆原座長

- ・事務局主導から利用促進友の会といっしょに考えていく段階になったと思う。
- ・車とバスの比較はナンセンスで車と比べることをやめてみる。ちょっと発想を変えてもらうということが重要ではないか。
- ・委員の皆さんで今日指摘できなかったことはパブリックコメントで指摘してください。良い提案をお願いします。
- ・それでは以上で議事を終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。事務局にお返しします。

4. 閉 会

○初山町長

- ・長時間にわたり協議ありがとうございました。住民ニーズも多様化してきた。資料1の53頁のアンケート調査でも多くの意見がある。過去を振り返ると、5万人目の利用者、10万人目の利用者は週に3日使用している人だった。
- ・利用が固定化してきたと思うため新しい人への周知を考えたい。
- ・まちの将来像もこれで固めている訳ではなく流動的に対応したい。
- ・駅東の土地区画整理事業を行う。温水プールの整備など、まちづくりと連動しながら進められればと思う。
- ・本日はいろんな提言をいただきありがとうございます。使い勝手の良いバスにしていきたい。PRにも努めたい。本日はありがとうございました。

○事務局

- ・以上をもちまして「武豊町地域公共交通会議」の第18回会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上